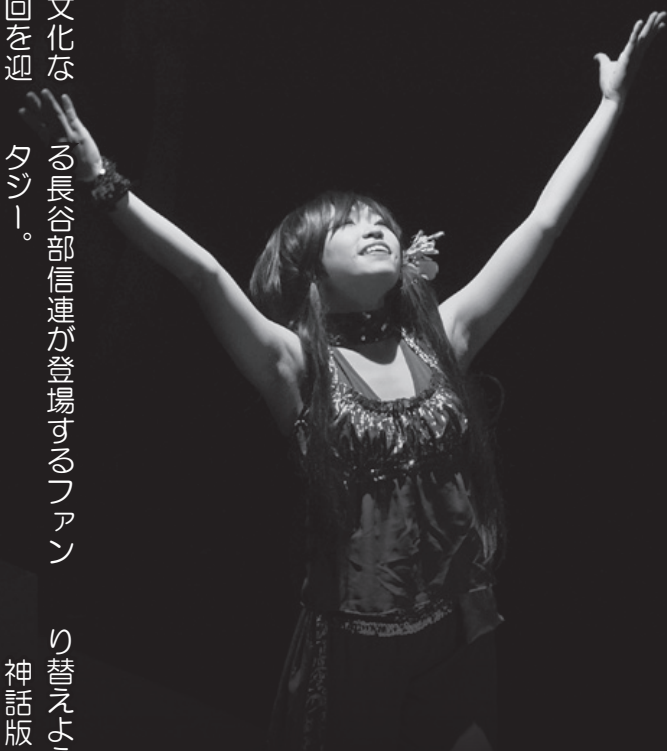


ふるさとへの思い歌い上げる 第13回日野町民ミュージカル「魔 法にかかった信くんとなかまた ち」はせべのぶつらの描いた夢 タウン・小京都「ひの」を行く」

日野町の自然や歴史、文化などを題材に、今年で第13回を迎えた日野町民ミュージカル「魔法にかかった信くんとなかまたち」はせべのぶつらの描いた夢タウン・小京都「ひの」を行く」が、11月9日、町文化センターで昼と夜の2回上演されました。当日は、子どもから大人まで総勢21人が出演し、約半年間の練習の成果を披露しました。

今回のミュージカルは、平安時代末期、平家に捕えられ、金持に流刑された7年間、日野の地に京の文化を伝えたといわれ



▲あふれ出すふるさとへの愛を歌う

▼現代にいたころの思い出がこみ上げる

る長谷部信連が登場するファンタジー。

現代の宝仏山で道に迷い込んでしまった学生たちと、千年の時を越え考古学者に姿を変え発掘調査をしている毒蝮三太夫。彼は、己の野望を果たすために西暦180年に時を逆流させてしまいます。そこには、毒蝮に呪いをかけられ、醜い野獣の姿になった長谷部信連たちの姿が……。毒蝮は魔法で人々を

あやつり、平清盛の妻となるはずの時子との仲を裂き、時子を自分の妻にして日本の歴史を塗り替えるよつとたくらみます。神話版「美女と野獣」ともいえる今作は、一途な思いの信連と壮絶な過去を持つ毒蝮、そして真実の愛を探す時子を中心として、最後はみんなが過去を振り返らずに未来へ明るく進んでいくという、感動の物語です。

昼と夜の公演とも会場は満員となり、笑いを誘うシーンやしっとりとした歌い上げるシーン、そして迫力ある殺陣のシーンなど、出演者の熱演に客席からは大きな拍手が送られていました。



▲時子を守るため毒蝮と戦う信連



▲歴史が交差したこの地から、未来へ向かって。きらりと光るまちへ

▲好きな人への思いを歌に乗せて



▶長谷部信連(野獣) 中村信夫さん



▶毒蝮三太夫 佐々木航太郎さん
平 時子 加藤梨馨さん



▶左から、そのこ(キノコ) = 山田楓夏さん、あそこ(同) = 亀崎理映さん、ピコ(同) = 亀崎真由梨さん、きのこ(同) = 藤原さくらさん、ドコモダケ(同) = 亀崎翔真さん



◀左から、夕陽(バク) = 宮脇淳子さん、夢番地(同) = 蔵本奈美さん、夕焼け(同) = 瀬田琴未さん、小焼け(同) = 阿部七美さん



▲後列左から、チュチュ(毒グモ) = 毛利智尋さん、ジュジュ(同) = 足立佳菜さん、前列左から、ジェジェ(同) = 足立麻緒さん、ジャジャ(同) = 阿部瑞季さん

◀左から、がんばん(こうもり) = 藤原敦子さん、びりびり(同) = 長尾光貴さん、ばんばん(同) = 加藤良子さん、ぱりぱり(同) = 音田いく子さん、ばくばく(同) = 倉間紀代子さん

